

とうり さと

桃李の里

福島市立中野小学校 学校だより

令和2年7月10日発行 (No. 10)

文責：校長 白土 勲



星のつどい (七夕)

7月7日(火)4校時目に星のつどいが行われました。「たなばたさま」の歌を全員で合唱したり、一人ひとりの願い事を理由もつけて発表したり、たなばたのお話の読み聞かせをしたり、ゲームをしたり、全校生でとても楽しいひと時を過ごすことができました。

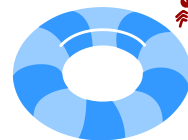
本校では、このような縦割りの活動がとても重要です。子どもたちは、先輩の言動をキャッチし、やがて自分がそのような先輩のようにならなければいけないというイメージをもつことができます。

将来の自分をイメージして、今やらなければならないことを必要感をもってやることができる、そのような資質・能力を高めようとするのがよく言われる「キャリア教育」です。

子どもたちに、今の学びが将来にどのようにつながるのかを説明できるように、私たち教職員も努めていきたいと思えます。



ロバート先生とのお別れ



約1年間、外国語の授業でお世話になってきたALTのロバート先生とお別れすることになりました。8月にロバート先生が母国のカナダに帰国することになったためです。

ロバート先生は、大変お人柄がよく、いつも優しく、分かりやすく、そして丁寧に外国語を教えてくださいました。

子どもたちも、毎回笑顔で授業に臨んでいました。本当に残念です。

7月8日(水)お昼に、ロバート先生とのお別れの集会を行いました。

涙ながらにあいさつをされるロバート先生の姿に、子どもたちは、国境を越えた人とのつながり、心のつながりを感じるとともに、別れのせつなさを学ぶことができたのではないかと思います。

学校での一つひとつの経験が、子どもたちの心の高まり、ひいては人としての高まりにつながるよう、今後も取り組み方を工夫していけるようにいたします。



【校長のつぶやき】

- 4年生の阿部 心音(あべ ここね)さんは、星のつどいのゲームの時、チームのために一生懸命走っていました。どんなことにも真剣にがんばる姿勢が素晴らしい!

